

芸能

ピーの由来は…

「子どもの頃、乳母に命名されたんです。僕の髪の毛は渦が二つ巻いてましてね。それで髪の毛が突っ立って、キューピー人形みたいって。それが略されて『ピー』に。僕のニックネームは、生まれたところからの由緒正しいもの。他のメンバーみたいに、後付けじゃないんですよ（笑い）」

滝沢美穂子撮影



ジュリーこと沢田研二をボーカルに擁してグループ・サウンズ・ブームの頂点にいた「ザ・タイガース」が、44年ぶりにオリジナルメンバー5人で再結成し、全国をコンサートツアーで回っている。ドラムのピーこと瞳みのるは「聴衆の皆さんの自分史がよみがえってくるようなステージになればいいなあ」と話す。

17日、京セラドーム大阪

ドラムの瞳みのる、涙の抱擁で再結成

し、難波のジャズ喫茶に出演していた。大阪・ミナミは「東京に出て67年にザ・タイガースとなる直前の、本当に思い出深い場所」と瞳は振り返る。活動期間は短かった。69年にトップポこと加橋かつみ（ギター）が脱退し、71年1月に解散した。

その後、瞳は芸能界と決別。慶応大で中国文学を専攻し、慶応高校の教師となり、漢文などを教えた。

82年に再結成し、「色つきの女でいてくれよ」などのヒットを飛ばした時も、瞳は不参加だった。

本格的な再結成の起爆剤になったのは2008年、サリリーこと岸部一徳（ベース）と沢田が作詞した「ロング・グッバイ」だった。「いつもいつも 気にかけてる」といった歌詞は「40年近く音信不通になった僕への思いがつづられていた」。同時期に東京・渋谷の居酒屋で再会した時、タローこと森本太郎（ギター）は「いきなり抱きついて、泣き出した」。仲間の友情が音楽への罪をたたく。「あの再会が、今回につながってますね」

「若い時は、いろんなことがあったけど、この年になって『恩讐の彼方』という心境になってきましたね」

今回のツアーでは、バックバンドは入れず、5人だけで演奏する。「最初に僕らが始めた時の音が、一番、タイガースらしい」

17日午後6時半、京セラドーム大阪で公演。8千円。ページ・ワン（06・6362・8122）。（佐藤圭司）

ザ・タイガース ああ頃のリズム

「声」は決してコメディイではないが、作者が明らかに笑いを意識して書いている箇所がある。随所に出てくる間違い電話のくだりなど最たるもの。そういった部分はきちんと拾って

深みも軽や



文 和田誠

安蘭けい「難曲」というゲーム

「CHESS in Concert」大阪で20～22日

人生というゲームに挑んでいる。あなたも、私も。だから、安蘭けいは歌う。「CHESS in Concert」が20～22日、大阪・梅田芸術劇場で上演される。「難曲ぞろい」と安蘭。宝塚歌劇団の男役時代から、だれもが認

ープ「ABBA（アバ）」のアンダーソンとウルバース。ロック、ポップス、オペラ調と多彩に、縦横無尽に。安蘭はメロディーが魅惑的な「I Know Him So Well」が好みという。

去年の初演に続き、米ソのチェス王者の間で揺れ動くフローレンス役。「歌をもう少し自分のものにしたい」。女心をしっかりと演じることに挑む。

「歌でつづり、やりたいことがのびのびで



そしてなにより、彼女が醸し出す独特の軽やかさは、コメディには打ってつけだ。その軽やかさは、ダイナミックな肢体から醸し出される「重量級の軽やかさ」とでも言うべきもの。それでいて、ちゃんと女の情念も表現出来る演技力も、彼女は持っている。「清須会議」ではお市